国立大学法人京都大学教職員研究代表者等特別手当支給細則新旧対照表

改正前	改正後
<p>(前 略) (支給日)</p> <p>第4条 研究代表者等特別手当の支給日は、原則として外部資金から研究代表者等の人件費を支出した年度の2月17日とする。<u>ただし、その日が日曜日に当たるときは前々日、土曜日に当たるときは前日、休日に当たるときは翌日を支給日とする。</u></p> <p>2 前項の規定にかかわらず、研究代表者等の休職、休業等の事由により前項に定める支給日に研究代表者等特別手当を支給できないときは、復職し、職務に復帰し、又は再び勤務するに至った日後に支給し、研究代表者等が前項に定める支給日までに退職するときは、退職日後においてすみやかに支給する。</p> <p>(後 略)</p>	<p>(支給日)</p> <p>第4条 研究代表者等特別手当の支給日は、原則として外部資金から研究代表者等の人件費を支出した年度の2月の<u>俸給の支給日</u>とする。</p> <p>2 前項の規定にかかわらず、研究代表者等の休職、休業等の事由により前項に定める支給日に研究代表者等特別手当を支給できないときは、復職し、職務に復帰し、又は再び勤務するに至った日後に支給し、研究代表者等が前項に定める支給日までに退職するときは、退職日後においてすみやかに支給する。</p> <p>附 則 (令和7年6月総長裁定) この細則は、令和7年7月1日から施行する。</p>